

甲冑の作り方

※用意していただくものはさみ、セロテープ、定規

はじめに (作る前に確認してください)

・商品内容	本体	胸 1枚	草摺り	19cm 3枚	
		胸 1枚		21cm 3枚	
				23cm 3枚	
				25cm 3枚	
	袖	本体とのつなぎ		左右各 1枚	
		下段		左右各 3枚	

※袖のパーツの長さ、草摺りの一番上の長さは同じです。

ひも 白 20m ・ 紺 50cm

折り目が凸になっている方を表です。胴体に絵や家紋などを入れたい場合はひもを通す前に書いてください。

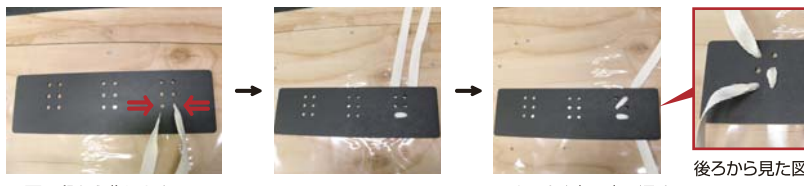
紙を横から見た図
うら側
くさずり

① 白のひもを 110cm 9本・80cm 6本 の長さに切ります。残りは本体の背中と、胸と胴をつなぐために使います。

② 110cmは草摺り、80cmは袖のパーツを作るために使います。切った端を写真のようにセロテープでとめて穴に通しやすいようにします。以降ひもを穴に通すときはすべてセロテープを巻きます。

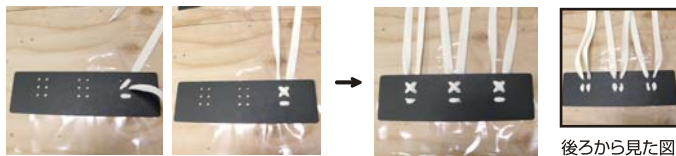
ひもをナナメに切り、セロテープで写真のように円錐型に丸めてくる巻きます。

③ 草摺りを通していきます。110cmに切ったひもと19cm、21cm、23cm、25cmのパーツで1セット作ります。



▲下の段から作ります。25cmの一番大きなくさずりの矢印の穴に110cmに切った1本を左右均等になるように通します。

▲まっすぐ上の穴に通す。



▲クロスになるように、後ろからひもを通す。クロスはどちらが上でもかまいません。

▲3列とも同じようにひもを通す。1段目出来上がり。

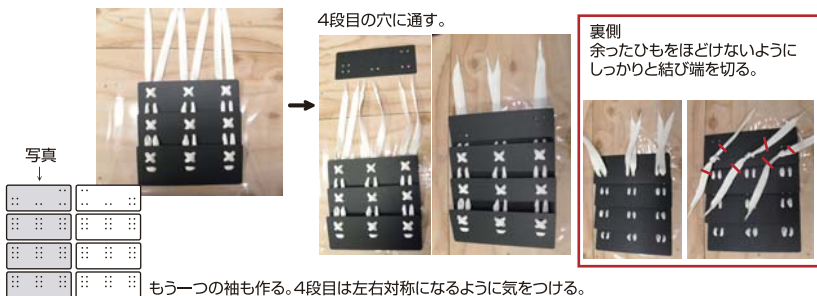


▲23cmの草摺りの一番下の穴に上からひもを通す。25cmと23cmの草摺りは大人の場合1cmくらい重ねるようにする。子供の場合重ねる部分を多くして長さを調節する。



▲1段目と同じように2段目もクロスにして通す。3段目(21cm)、4段目(19cm)まで同じように通していく。

④ 草摺りを通していきます。110cmに切ったひもと19cm、21cm、23cm、25cmのパーツで1セット作ります。



⑤ 胸と胴をつなげます。体のサイズによって3種類の大きさに調整できます。子供サイズは角丸のライン枠で説明します。ラインのところで折り目を入れてください。胸の一番下の穴と、胴の一番上の穴をクロスにひもを通します。胴の部分が上になります。緩まないようにしっかりと結んでください。



▲クロスを通した上の穴に紺色のひもを一文字に通します。途中ひもを切りません。左右の端は玉結びをしてとめてください。

子供サイズはカットラインのところを、ハサミで切り取ります。ひもは上の穴に通します。

▼一番小さなサイズは、穴と穴を重ねて結びます。

▲中くらいの大きさは上の段の穴に、大人と同じようにクロスでとめます。

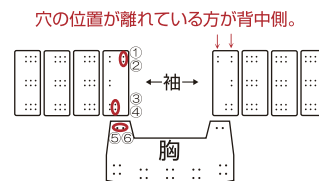
裏側

⑥ 草摺りと胴をつなげます。

▼裏を向けひもの長さを均等になるように調節します。草摺りと胴の間は5~12cm身長に合わせて調節します。



⑦ 袖と胸をつなげる。肩の穴の位置に注意してください。



⑧ 袖の先のひもを胸の横上の穴にクロスにして通す。ひもの端は、結んでおく。



⑨ 50cmのひも2本をカットし胸の横下の穴に1本ずつ通してとめる。 出来上がり!

